

市政フラッシュ

8/22



県・政府による集中協議を受けて

政府と沖縄県による集中協議に関し、佐喜眞市長が記者会見を行いました。返還合意の原点は「まちの真ん中にあり、人命を損なう懸念が強い普天間飛行場の早期の危険性除去」であったにもかかわらず、19年経過した現在も、危険性が放置されたままの現状を訴え、また、「何よりも優先されるべきは市民の生命である」と述べ、政府、県に対し、今こそ原点に立ち返り、一日も早い危険性の除去と返還を実現するための、具体的手法と道筋を示すよう強く求めました。また、集中協議において普天間飛行場を抱える宜野湾市の意見を述べる機会を設けるよう、併せて要望しました。

8/29



菅官房長官が視察

菅官房長官が普天間第二小学校屋上から普天間飛行場を視察し、佐喜眞市長および玉城教育長が普天間飛行場を抱える本市の現状を説明しました。
佐喜眞市長は、普天間飛行場を絶対に固定化することなく、一日も早い閉鎖・返還と、目に見える形での危険性除去及び基地負担軽減の早急な実現、集中協議の場において、普天間飛行場を抱える宜野湾市の意見を述べる機会を設けるよう要請しました。
また玉城教育長は、市内の教育現場が抱える基地があるが故の問題を訴え、子供たちが安心して学校に通えるよう問題解決に向けた取り組みを要請しました。

9/2



翁長知事に要請

佐喜眞市長は昨年12月と今年5月に引き続き翁長県知事と面談し、返還合意から19年経過した今なお、原点である危険性除去はおろか基地負担軽減も進まず、市民の不安や苦悩が放置されたままとなっている現状を訴え、翁長知事に対し問題解決に向け、より一層の取り組みを要請しました。また、政府と県との間で行われている集中協議において、宜野湾市の意見を述べる機会を設けるよう、併せて要請しました。

9/7



米軍機による騒音等に抗議・要請

旧盆の中日にあたる8月27日の早朝、9月3日の夜間における米軍機による騒音について、沖縄防衛局長、外務省沖縄担当大使および第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官へ抗議・要請を行いました。佐喜眞市長は、前回の抗議から1ヶ月も経過しない間に再び市民生活に大きな影響をあたえていることは、極めて由々しき事態であるとし、厳重に抗議し、抜本的な解決のためにも一日も早い閉鎖・返還の実現を要請しました。

我如古横断歩道橋が完成しました！



歩道橋は、平成27年9月24日(木)午前7時より利用できます。新しい歩道橋では、自転車を押して登れる緩やかなスロープを設置しました。

なお、我如古交差点付近における、「電線を地中に埋める工事」、「道路を広げる工事」は引き続き継続中で、来年の3月末までかかる予定です。ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

宜野湾市からのコメント「広く、歩きやすくなりました歩道橋が、皆さまに末永く親しまれますようこれからもよろしくお願い致します。」

問合せ：南部国道事務所 嘉手納国道出張所 ☎943-6203